

瀬上小学校

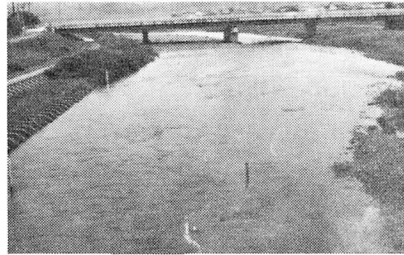
1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

摺上川の幸橋付近

(2) 橋の上から、川原や水の流れの様子を観察し、全景をスケッチする。

川原の大きさや、水の流れている幅などもおおよその数値を記入しておく。(車の走行に注意する)



① 川原ができている所、川岸がけずられている所は、川の流れの速さや蛇行とどのような関係があるだろうか。

(3) 川原において流水のはたらきを調べる。

① ⑦付近で、川原に近い所での流れと、コンクリート土手近くでの

流れとで、どのような違いがあるか、30mぐらいの長さを測って、木片などを流して流速を調べてみる。

② 川原の岸から土手に向かって、深さはどのように変わっているか調べてみる。また、川底の様子の違いなどについても、水中のぞき箱などを利用し調べてみる。

③ レキのつもっている川原より、一段高くなって雑草の生えている面がみられるが、このような所ははんらん原とよばれている。川のどのようなはたらきでできたのか考えてみよう。

④ 川原のでき方や川岸のけずられ方、川原のレキのつもり方などについて、流水のはたらきと関連づけて考えてみよう。

